

秋田北中、飯島中の統合に関するこれまでの協議について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域協議の第1段階である地域ブロック協議会を市内7つの地域に設置し、その中で組合せが決定した学校については、第2段階である学校統合検討委員会において、対象校の関係者で、統合の可否について、検討を継続しています。

1 北部地域ブロック協議会【第1段階】

北部地域では、これまで6回開催しており、協議の中で中学校については、土崎中と将軍野中、秋田北中と飯島中の組合せで、第2段階である学校統合検討委員会に進めることを決定した。

2 秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【第2段階】

(1) 第1回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【令和3年7月8日(木)開催】

ア 主な意見等

- ・生徒数や教室の数だけではなく、地域の課題などを整理しながら、時間をかけて検討を進めていく必要があると考える。
- ・秋田北中を使用した場合や飯島中を使用した場合、それぞれの課題などを比較しながら、検討を進めていかなければいけないと思う。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・今回各委員から出された意見や、統合に伴う課題について、各所属団体で情報共有するとともに意見集約し、次回以降、引き続き協議する。

(2) 第2回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【令和3年11月24日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・現時点で統合するとかなりの学級数になるので、余裕をもって適正規模となる令和15年度を統合の目途とし、この検討を一時休止してはどうか。
- ・秋田北中の1年生が2学級となることが予想される令和11年度が統合のタイミングではないか。
- ・両校ともに、現在は部活動などに支障はないが、今後、生徒数の減少が予想されるので、検討委員会での協議を継続し、年に1、2回程度開催してはどうか。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・今回の協議内容を踏まえ、各所属団体で情報共有するとともに意見集約し、次回、統合の時期と合わせ、今後の協議の進め方について検討する。

(3) 第3回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【令和4年2月8日(火)開催】

ア 主な意見等

- ・どちらの校舎を使用するにしても、余裕をもって適正な規模となる令和15年度を統合の目途としたい。
- ・統合時期の目途は、生徒数の推移により変動することから、年1回の協議を継続する必要がある。
- ・生徒数の推移のほか、部活動の状況や保護者の意向を踏まえながら、統合時期の目途を探っていききたい。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・統合時期の目途を令和15年度とし、今後の生徒数の推移を見ながら、年1回の協議を継続する。

(4) 第4回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【令和5年3月3日(金)開催】

ア 主な意見等

- ・統合時期の目途は引き続き令和15年度とし、当面は年1回程度、各所属団体の意向を確認してはどうか。
- ・10年後には2校の生徒数の合計が500人を切るため、その数年前には、年2、3回協議をすべきと考える。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・秋田北中、飯島中は、引き続き、統合時期の目途を令和15年度とし、生徒数の推移を見ながら、年1回の協議を継続する。

(5) 第5回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会【令和5年11月15日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・秋田北中PTAには統合に前向きな方もいるが、現時点では教育活動に支障を来していないため、引き続き、生徒数の推移や部活動の状況を見守っていききたい。
- ・生徒数の減少状況を見ると、令和15年度を目途とした統合時期を早めることも考える必要があるのではないか。
- ・令和15年度の統合や年1回の検討委員会の開催にこだわらず、両校PTAの意見を聞いて、話し合いを深めていく方が良いのではないか。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・秋田北中、飯島中は、引き続き、統合時期の目途を令和15年度とし、生徒数の推移や部活動の状況を見ながら年1回の協議を継続する。
- ・ただし、状況に大きな変化があった場合には、その都度検討委員会を開催する。